

夕刊 新報

行發日六十月六 刊休日翌日祭曜日

愚庵研究 その後 (一)

田忠夫 愚庵利尚の生年月日

何しろ病院も二ヶ所に経営... 愚庵利尚の生年月日

病める窓邊より 二葉みどり

元禄名妓傳 小邑井小巴演

父年遊五男 安政元年甲寅七月二十日

學藝消息 齋藤茂吉氏(歌人)伊豆

拾華微笑 ひ話。サア油が

江東男子多蒙傑 谷土重來未可知

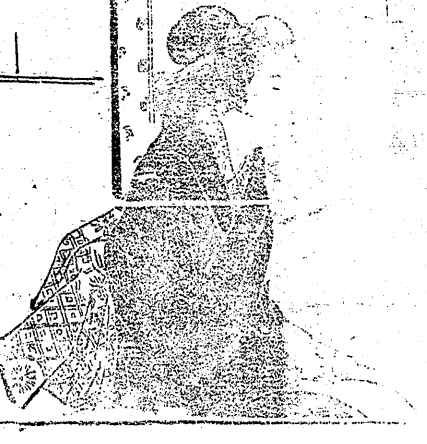
仙臺 JOURNAL 十七日水曜

市原病院 院長 市原卯太郎

安齋科醫院 平町田町

支店開業 御座敷

辯護士開業御挨拶 私儀平橋事局検事



元禄名妓傳 小邑井小巴演

六左衛門も今迄源右衛門を恨んでゐたが、顔を見るに俄にニコニコとなり、大和やさん遠方の處を大きく御苦勞までございまして、イヤ最上御目次第な心一いけて、皆様に餘計な心配を付けて、...

Advertisement for 'Tokyo Kujyujo' (東京久月人形) featuring various doll types and prices.

Advertisement for 'Fukunoya' (福多屋) and 'Takakura Hospital' (高久病院) with medical services and contact information.

### 總應募者の七割強は 見事豫想的の的外を 早慶戦投票の見當違ひ 當籤授賞者は明紙上に発表

恒例の大人氣裡に行はれたる投票通し決勝の翌々に出るものと見られてゐる大谷時計店主催本社の後援の日たる明十七日本社に於ける組合員中には前野崎組合早慶戦投票見當違ひ既報記者有志立會の下に抽籤を長時代に於ける四、五兩年の如く試合開始當日なる去て當籤者を決定し明紙上に発表す投票内訳次の如し及會計事務引續未了となつて居る事は比佐現組と聲明した

投票者	投票枚	百分比
慶	一九八	四二・三
早慶	七・八	一・七
早慶	五・七	一・二
早慶	三・三	〇・七
早慶	六・〇	一・三
早慶	〇・八	〇・二
早慶	〇・七	〇・二
早慶	〇・七	〇・二
早慶	〇・七	〇・二
早慶	〇・七	〇・二
早慶	〇・七	〇・二

### 三ヶ年繼續事業で 改修工事に着手

夏井藤原の河川に 補助額決定の内報入る

夏井川以下流域防不全の省技師來郡詳踏査する處ため普通降雨三日に及べばあつたが此程急々右に對す水が河川から逆流しその爲る國庫補助が決定し今十六沿岸夏井、大浦の兩村等で日平土木監督所へ藤原川四は年々被害多からず之れ十萬圓夏井川百萬圓交附指が改修方を度々土木監督所内の報あつたので縣當局並に縣當局に陳情する處あり通達あり次第三ヶ年のり一方同様出水の都度土砂繼續事業として早速着手す流入、田畑流失等莫大なる損事となつたので時節柄失害を被る爲之亦關係當局に業者を使用したい方針であ陳情しつゝあつた藤原川の内務

### 助役問題乎?

平町の後任助役 問題は町會内に 昨夜一部町議會合 役場非役場の兩 々の論議が行はれてゐるが青沼餘太郎氏を中心とす一派は昨十五日夜南町大森町議方に會合したとて時節柄今後の成り行きを前目されてゐる

### 明日の理髮總會

其筋が警戒の満足を期す 明十七日午前十時から平野で相當の波瀾は免れぬ形勢も女生徒の一面にその妙技を 演武で開演される平野管にある旨昨報の如くである 内の理髮業組合臨時總會は比佐氏と之等の反見せる心算で始業の鈴が鳴る 比佐組合長の越権行為糾弾對して相當釋明の態度つたにも拘らず鐵棒へ飛び

### 平水戸仙台合同 素人義太夫大會

各自治狗振りを發揮 十七十八兩夜聚樂館で

平、水戸、仙臺の素人義太夫 夫同好者の合同發起に係る 素人義太夫大會は十七、十八 兩日午後五時から聚樂館 に於て開催するが番組次の 如く尙ほ特別出演として東 都義太夫界の權威者早苗 太夫が兩日とも出演する

### 初夏の店頭から 不良飲食物を一掃

果實や清涼飲料水に 其筋の嚴重な取締り

最近平町市場に、櫻桃がから暑くなるに併れ腐つた 出廻りそれにバナナ、林檎果實や沈澱物を含むた 等を以て店頭を賑はし初夏清涼飲料水など往々發見 されて居るが之れを平野署では外動巡となつたので當時友子山中得ないで最近茨城方面へ四時頃同町古着商丹野みす 程鼻持ちのならぬ代ものはは虫唾をさせせらうとす、處が質問は、語 ありません。平町の議員は、脱線議員さんの寧ろ勇敢な姿がなくなつたので 人の中には、よく傍聴席に、脱線議員さんを、先きの少年減つてしまつたので、進行する事になつた 氣に、その、平野署に、先きの少年減つてしまつたので、進行する事になつた 氣に、その、平野署に、先きの少年減つてしまつたので、進行する事になつた

### 平町新風景

#### 脱線議員さん

傍聴席に記者が居る 乙う澄まして一席さ来る 記者の少年ついた處が餘り放れろを 時代であつた見せる事を急いだ為に飛び 機械操縦の予許が狂つていやと云 のうまいとと程大地に叩きつけられ 云ふ友達が折れも氣絶してしまつた。何 會はいつも時間がかかつて 議場の門を出ないうちか 諸君は爾來傍聴をせぬ事にした新風景ではありませんか

### 少年野球大會

來廿八日開催 少年野球大會後援の縣下 少年野球大會選考部選考 大會は二十八日午前十時か 第一小学校庭に於て開 催される事となつた

### 赤井教員視察

十八日茨城へ 赤井村第二小學校校長 審査したるが更にその數量に 以下教員十四名は十八日か 次審査中で全部の終了発表 三日間茨城師範並に大津に 方面の小學校を視察する由 決定して大津は大浦、 一毛作品評會、郡農 草野、神谷、夏井、好問の 各村落雲英は、勿來、植 品評會は五ヶ年繼續で去月 末に郡内各町村實地に就て

### 昨日四倉市場で 郡下春蘭初取引

前年に較べて 買馴れ三圓の低落 四倉市場は昨報の如く昨日十時五分掛買手は 十五日午後三時から取引を村野片根製糸場外七名で 開始し郡下の初取引が行はれたのは最近足 けたが總買數三百二十一貫十圓八十錢買馴れ三圓の安 七百最最高三十圓八十錢最値を示してゐる 低二十八圓七十錢買馴れ三

### 奉願帳を振り廻し 金錢を強要して歩く

松原署の厄介になる 勿來町無職門馬(三)は昨と稱する共濟會より奉願帳 年一月勿來町出職大日本炭の下の附をうけ爾來各礦山 礦採炭夫として從業中落着係者を訪問金錢の強要を したる負傷性骨神經痛を併ひ生活しては最近足 して労働に堪へ得ない身から炭礦のみにては満足 となつたので當時友子山中得ないで最近茨城方面へ 四時頃同町古着商丹野みす

### 巧妙な籠り詐欺

高飛び間際に捕はる 昨十五日午後一時頃小名濱方に至り銀仙草衣外敷點價 町吉田屋旅館に水戸市居格六十餘圓を註文して前記 新聞記者高倉友重(三)と稱 旅館に取り寄せ使ひの小僧 村古河炭礦では從業員二百餘名が賭博開帳中平野署に踏 餘名に對し十八、二十、二 赤痢豫防注射をなすと

### 全日本の強豪 日立と技を競ふ

來大會の覇者たるべく 入山選手の意氣込み 五ヶ月の後に第四回聯合陸 上競技大會を控ふる各炭礦 では如何にしても當日の覇 者たるべく問がな際がな猛 練習を續けてゐるが炭に優 賞の榮譽ある歴史を有する 入山では全日本一大強豪 山では全日本一大強豪 山では全日本一大強豪

### 赤痢豫防注射

好問 昨十五日午後一時頃小名濱方に至り銀仙草衣外敷點價 町吉田屋旅館に水戸市居格六十餘圓を註文して前記 新聞記者高倉友重(三)と稱 旅館に取り寄せ使ひの小僧 村古河炭礦では從業員二百餘名が賭博開帳中平野署に踏 餘名に對し十八、二十、二 赤痢豫防注射をなすと

### 節句贈答廢止

警城 節句贈答廢止 警城 節句贈答廢止 警城 節句贈答廢止

### 平町の人事

平町 昨其筋に檢束する 昨其筋に檢束する 昨其筋に檢束する

### 給外務社員採用

給外務社員採用 給外務社員採用 給外務社員採用

### 開業

開業 開業 開業

### 増田耳鼻科醫院

増田耳鼻科醫院 増田耳鼻科醫院 増田耳鼻科醫院

### 秋山時計店

秋山時計店 秋山時計店 秋山時計店

### レコード破りの 金冊錢也

レコード破りの 金冊錢也 正味十貫目一俵 金冊錢也

### 川井内科診療所

川井内科診療所 川井内科診療所 川井内科診療所

### 初夏のサロン

初夏のサロン 初夏のサロン 初夏のサロン

### 阿部石炭商店

阿部石炭商店 阿部石炭商店 阿部石炭商店

### 増田耳鼻科醫院

増田耳鼻科醫院 増田耳鼻科醫院 増田耳鼻科醫院

### 給外務社員採用

給外務社員採用 給外務社員採用 給外務社員採用

### 開業

開業 開業 開業

### 増田耳鼻科醫院

増田耳鼻科醫院 増田耳鼻科醫院 増田耳鼻科醫院

### 給外務社員採用

給外務社員採用 給外務社員採用 給外務社員採用

### 開業

開業 開業 開業

### 増田耳鼻科醫院

増田耳鼻科醫院 増田耳鼻科醫院 増田耳鼻科醫院

### 給外務社員採用

給外務社員採用 給外務社員採用 給外務社員採用

### 開業

開業 開業 開業

### 増田耳鼻科醫院

増田耳鼻科醫院 増田耳鼻科醫院 増田耳鼻科醫院

### 給外務社員採用

給外務社員採用 給外務社員採用 給外務社員採用

### 開業

開業 開業 開業

### 増田耳鼻科醫院

増田耳鼻科醫院 増田耳鼻科醫院 増田耳鼻科醫院